



震災にも負けず元気に過ごす本寺小・中学校の児童・生徒たちと浅井市長(中央)

平成二十一年

謹賀新年

市長 浅井東兵衛

新年あけましておめでとございます。市民の皆様には、平成21年の新春をお健やかに迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。市では平成20年度を市民との協働によるまちづくりの初年度と位置づけ、「市民協働推進懇話会」や「地域市民協働講演会」を各地域で開催し、市民意識の醸成を図ってまいりました。その最中の6月14日に、当市西部を震源地とする岩手宮城内陸地震が発生し、予想だにしない被害となりました。被災直後より、国・県および関係機関・団体や市民各位の迅速的確な対応により、救助などの緊急対策および復旧・復興作業が順調に進められましたこと、また、全国の皆様から多くの義援金などの励ましをいただきましたことに、改めて衷心より御礼申し上げます。被災された方々もようやく落ち着きつつありますが、いまだに避難生活を余儀なくされている方々もおられますことから、被災地の完全復旧および被災された方々が一日も早く元の生活に戻られるよう、全力を尽くしてまいります所存であります。平成20年は、このような心を痛める災害・事件・事故が多数発生した年でありましたが、明るい話題も数多くありました。3月に一関学院高校が選抜高校野球大会に2度目、春夏通算7度目の甲子園出場を果たしました。また、10月には、全日本合唱コンクール全国大会中

学校部門混声合唱の部におきまして、桜町中学校が見事に金賞を受賞いたしました。さらに、11月に行われた日報駅伝において、一般の部は一関市が2年連続16度目の優勝を、高校の部は一関学院高校が15連覇を成し遂げるなど、文化・スポーツにおいて、市民から賞賛される活躍がありました。さて、私は、「一関市総合計画」のまちづくりの目標のもと、本年も積極的に各種施策に取り組んでまいります。とりわけ本年は、新たな重点施策として、真湯・祭時地区の開発構想や新工業団地の整備構想の策定、一ノ関駅周辺の整備計画づくりなどを進めてまいります。また、昨年に引き続き、市民との協働のまちづくりを推進してまいりますので、皆様の参画を強く願うものであります。昨今は、地域内の互いの支え合いが希薄になってきており、高齢者世帯や一人暮らし老人への支援、さらには子育て支援などが大きな課題となっております。これらの対応策として、まず、希薄になった地域の支え合いを再構築することが肝要であると考えます。住民、NPOをはじめ各種団体、そして行政が力を合わせて「新しい支え合い」を作り上げることに、福祉の向上はもろろん、活力ある希望に満ちた地域が形成されるものと確信しております。市の財政は依然厳しい状況にありますが、「選択と集中」による事業の推進やさらなる行財政改革を推進し、地方自治体の役割と責任をしっかりと果たしてまいります所存であります。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が市民の皆様にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

大正2年
生まれ



菅原ハツミさん
千厩町小梨

田畑の仕事をしなから7人の子育てをしてきました。今ではひ孫たちに囲まれ、元気に過ごしています。毎日その日の出来事や感じたことを日記につけるのが習慣。週に一度のデイサービスや、時々歩いて出かけ、近所の人たちと話すのが楽しみです。今年も運動を続けて、丈夫に暮らしていきたいです。

昭和12年
生まれ



小山仁さん
室根町折壁

多趣味で浅く広く多くの仲間と接することがモットー。新しいことにチャレンジすることが元気のもとになっています。妻が健康に配慮して作ってくれた食事を取り、薬に頼らない丈夫な体で、20歳から始めた菊作りが夢です。今年も仲間とともに増収につながることを願って、頑張っています。

大正14年
生まれ



辻山敬喜さん
中里

旧国鉄を退職後、山ノ目駅での切符販売や公民館の宿直代行などでお世話になりました。今は4世代9人家族でにぎやかに暮らしていますが、やはりひ孫はかわいいですね。戦前から戦後の辛く苦しい時代を生き抜いてきました。平和な世の中で、一日でも長く元気に過ごしたいですね。

昭和24年
生まれ



千葉啓子さん
東山町長坂

ゆみおり生活研究グループに所属し、コンニャクイモを栽培・加工し販売しています。みそ作りも始めました。昔は手作りしていたものも今は買うのが主流。何でも手作りに挑戦して、若い人に伝えていけたらと思います。今年はお家の畑の麦を使って、しょうゆ作りにチャレンジしたいです。

丑年 生まれの人に聞く新年の抱負

今年の干支は「丑」です。市内の丑年生まれは9224人。最高齢は大正2年生まれの96歳で122人。一方、平成9年生まれの12歳は1109人となっています(20年12月10日現在)。年頭にあたり、丑年生まれの年男年女の8人の皆さんに、新しい年を迎える抱負を述べていただきました。



昭和36年
生まれ



熊谷喜一さん
花泉町金沢

健康を気遣う年代になり、3の息子の学年行事に参加したのを機に、メタボの解消にとウォーキングを開始。普段見過ごしている周りの風景や季節を感じながら、4キロ程歩いています。町内一周駅伝大会にも初参加し、チームは3位になりました。走る楽しさもあり、今年も出場を目指し、続けていきたいです。

昭和60年
生まれ



小野寺祥さん
中里

保育園に勤務し、2歳児を担当しています。毎日純粋な子どもたちと向き合っていると、子どもの姿からむしろ教わることも多いほど。仕事を通して人と成長していきたいです。マラソンや駅伝の観戦が大好き。今年はいよいよウエアをそろえて、自分でも走り始めてみたいと思っています。

昭和48年
生まれ



伊藤真由美さん
川崎町薄衣

仕事をしながら、3人の子育てに大忙しの毎日ですが、おじいさん、おばあさんにずいぶん助けられています。家族みんなで買い物に出掛けるのが息抜きと楽しみにしています。新しい年は、今年中学3年になる子どもたちのためにも、余裕を持って子どもと向き合っていきたいですね。

平成9年
生まれ



佐山翔太君
猿沢小5年

国語と社会が大好きです。今、社会で「都道府県」について学んでいて、興味を持って楽しく勉強しています。今年6年生になります。委員会や子供会リーダーとして活動しなくてはならない学年です。しっかり低学年の面倒を見たり、学校の勉強を頑張りたいです。